WHEEL 4 "R" NO.4

Text & Photo : 塩谷佳史 Yoshifumi Shiotani

無駄なものは、いらない。

WORK M.C.O RACING Type CS × NAKANE RACING DESIGN BNR34

M.C.O RACING Type CS
Size：7.0J×16～18.0J×11
Price：4万3000円～6万1000円(税抜)
実装サイズ：11.0J×18インチ＋15(F&R)

必要な剛性をキープしながら軽量化を図るため肉抜き処理の施された10本スポークは、重量増を避けるためD-FACEと称するコンケイプ形状を採用。インセットとリム幅の最適値を割り出し、その上でAPレーシングの強化ブレーキとの親和性も生み出している。

国産ホイール屈指の名門ワークがモーターコンセプトワン・レーシングの旗印の下、ストイックなユーザー層へ向けて送り出すMCOレーシング・タイプCS。ネーミングに授与されたタイプCSは、そのものズバリ「サーキット・スペック」の意。全日本ラリー選手権からスーパー耐久シリーズまで、熾烈を極めるモータースポーツの最前線でプロフェッショナルからチョイスされ続けている実績がすべてを物語る。要するに機能性をないがしろにした巷のファッションホイールとは一線を画す、質実剛健かつ職人気質な玄人好みの1本と言えるのだ。

余計な贅肉を削り取ったソリッドな10本スポークは、路面からホイールに入力される衝撃や回転応力などを分散させ収束させる最適解。WFTこと「ワークフローフォーミングテクノロジー」を駆使したインナーリムは、厚みを極限までシェイプしたうえで必要とされる強度を確保。ホイールに求められる剛性をキープしたうえで、相反する〝しなやかさ〟も両立する鋳造ホイールの理想形を具現している。

また、国内ラリードライバーの生き字引である「世界の新井」選手が、勝つためのホイールとして絶対の信頼を寄せているのも同製品。軽量高剛性ホイールは鍛造（フォージド）というステレオタイプな物言いを実戦と結果において払拭する鋳造（キャスト）の代名詞でもある。

ちなみに、最強スペックを誇る鋳造ホイール、当のタイプCSを自然体で履きこなすBNR34は、GT-R専門店として名高いナカネレーシングデザインのリアルモンスター。HKSの鍛造ピストンやフルカウンタークランクシャフトに加え、JUNのハイリフトカムシャフトやトラストのタービンキットでフルチューニングされたRB26ユニットを搭載。

アフターマーケットパーツから独自開発したオリジナルアイテムまで、あらゆる可能性を探求する走る実験場として日夜サーキットを奔走しているのだ。

純粋にスポーツドライビングを突き詰めたコクピットは、走ることのみに特化した必要最小限の装備のみで構成。リアシートはおろか助手席、果ては内貼りまで剥ぎ取られたソリッドかつストイックな空間には、シャシーに溶接して組み込んだスパルタンなロールケージがセクシーと言えよう。また、フルチューニングの施された名機RB26にはトラストのT88-38GKタービンキットを導入。怒濤のパフォーマンスを得るに至っている。

UNCHECKED
ENGINE：RB26DETT HKS 2.8ℓ KIT
BORE×STROKE：φ87×77.7mm
CAPACITY：2771cc
CAM SHAFT(IN/EX)：JUN
PISTON：HKS FORGED
CONNECTING ROD：HKS H-SHAPE
CRANKSHAFT：HKS
TURBINE：TRUST T88-38GK
INTERCOOLER：ARC
MUFFLER：ORIGINAL Titan
TRANSMISSION：AGY SUPER CROSS MISSION
SUSPENSION：HKS
BRAKE：AP RACING F=6POT R=4POT
TIRE：ADVAN A050(FR 295/352R18)

問い合わせ／ワーク ☎06-6746-1133 www.work-wheels.co.jp 取材協力／ナカネレーシングデザイン ☎03-6905-6331 www.rndesign.tokyo